

SSH 講座「知的財産権セミナー」

2017.6.14

理数科 2 年生は水曜日の 5,6 校時に『SSH 探究 II』の時間があります。この授業時間では文字通り探究活動を行っています。39 グループに分かれ、実験等の活動をしています。

探究活動を繰り返すうちに、すごい発見や発明をするかもしれません。高校在学中に出来なくても、研究者になって何か作り出すことも考えられます。そこで 6 月 14 日のこの『SSH 探究 II』の時間を利用して【知的財産権セミナー】を行いました。つまり、特許に関する講義です。お話ししていただいたのは BS 国際特許事務所の弁理士 阿部伸一氏です。



「電子レンジ内のターンテーブルはなぜ回っているのか知っていますか？・・・物を温めるのにムラができるといけませんよね、そう、均一に温めるために回っているのだそうです。」これは特許が取得されているのです。

こういった特許の話は最初はクイズ形式で行ったので盛り上がりました。また、道路標識には無数の小さな穴が開いている。ゴルフボールの形、カップラーメンの麺は上部が蜜になっていること等、身近なところに特許が存在していることが分かりました。



《発明》のような知的財産を守るお話でしたが、自然界の法則や、数学の公式などは特許を取ることはできないそうですが、他の人が利用できるようにプログラム化するなど形態を変えれば特許取得も可能となることなど勉強になりました。

また、講義の中で、高校生が特許を取得した話「飛ばないテントウムシ」もあり、これからの探究活動もいっそう頑張るでしょう。

生徒の感想

- 発明の定義がわかった
- 特許の期限が 20 年しかないことが分かった
- 特許は自分に関係ないと思っていたが、高校生が取っていたので、身近に感じた